



代表取締役
大江 正孝

梅の花も咲き始め、春の訪れも感じられる季節となりました。

弊社は2月決算で、3月より第4期目を迎えております。日頃のご支援のおかげで新しいスタートが切れたこと、御礼申し上げます。前期は新しい取り組みとして、お客様への情報提供に力を入れるべく、サンプラニュース発刊と展示会自主開催を行いました。また、新商品「防錆+帯電防止フィルム」発表と、PVCフィルムのフタル酸フリー化を進めることで、新たなお客様からのお引き合いも増えております。今期は、私自身が那須塩原に移住をし、働きやすい職場環境づくりや商品開発に取り組みます。新たな市場を創り出せる高機能フィルムメーカーを目指し、よりお客様の発展に貢献できるよう、全社員一丸となって挑戦し続けます。今期もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

営業部よりご挨拶



取締役営業部長

いつも大変お世話になっております、営業部の [] です。

前期の振り返りをしますと、前期(3期)も前々期(2期)を上回る2,000件を超える新規の御注文をいただくことが出来ました！これもひとえにお客様の日頃のご支援、ご愛顧のおかげです！日頃よりご支援、ご愛顧をいただいておりますこと、あらためて厚く御礼申し上げます。前期の出張日数を数えたところ、地方(栃木工場含む)への出張日数が94日、前期の稼働日数が240日ですので、約3分の1以上出張していることとなります。しかしながら、まだまだお客様にご満足いただけるフォローが出来ていない状況にて、今期は営業部だけでなく全社一丸となって、お客様にご満足いただけるよう邁進いたしますので、変わらぬご支援、ご愛顧の程、宜しくお願ひ申し上げます。

WRCチーム・リーダーよりご挨拶



製造部
WRCチームリーダー

WRCリーダーの [] です。この度は今期5回のサンプラNewsを読んで頂き有難うございます。

また、お客様から多数のご感想、ご意見、ご要望など頂戴し有難うございました。サンプラスチック社員みんなの協力があり、サンプラNewsを1年無事発行することが出来ました。サンプラNewsを作成する事で以前よりも社員一人ひとりが仕事に対する考え方やプライドを持っているように感じます。来期も5回のサンプラNewsを発行する予定です。今期以上に満足して頂ける様頑張りますので宜しくお願いします。それと、私し事です。今春長女が大学、次女が高校へ進学します。私も今期(第四期)は新たな気持ちを持って仕事に取り組んで行きたいと思ひます。

サンプラNewsの取り組み

第三期のサンプラNewsの一つの取り組みとして、お客様に弊社製品を広く知って頂こうと、業界事例や新製品をご案内させて頂きました。今までの包装材とは違った観点からご使用頂いた事例や、弊社が取り組み発売出来た製品案内などを掲載させて頂きました。これはサンプラスチックの取り組みを違った観点から見て頂こうとの思いから、この一年ご案内させて頂きました。今年も引き続き、弊社製品を中心にお客様に役に立つ情報提供を心がけて続けてまいりますので、今までにご案内させて頂いた事、ご確認頂ければと思ひ掲載させて頂きます。

春号

シュリンクを活用した
コスト削減事例

夏号

意外なもののシュリンク事例
冷凍食品(シューアイス)編

秋号

防錆フィルムの新規発売
BioCorATPlusのご案内

冬号

新型帯電防止PEフィルムの発売予告
HL-新シリーズについて

☆☆☆ お客様よりご意見やご感想、ご要望等ございましたら、是非お聞かせ頂ければ幸いに存じます。

今期【弊社第三期】ご案内の事例・業界情報です。

サンプラスチック(株)は
お客様との繋がりを大切にします。

春号でのご案内

今回は、ある関東加工業者様にて、建築用で使用されている発泡目地材梱包でのコスト削減事例をご紹介させていただきまします。以前は、発泡目地材を5本もしくは、10本束にしてから、ポリ袋に入れ、中身が動かないように余った隙間部分を丸めて締めテープを貼り、その後たわんで折れないようにPPバンドで3箇所結束してから出荷していました。凡そ1,500本を梱包するのに6人掛りで丸一日掛ります。この会社の顧問の方から、手間が掛らず、簡単に梱包する方法がないか!?の相談を受け、シュリンクフィルムでの梱包を提案致しました。弊社より、直線シールのシュリンク袋のサンプルを送付して、一度試していたところ、非常に簡単に梱包することが出来るとの高い評価をいただき、すぐに本製品のご発注をいただくことになりました。何と！1,500本丸一日掛けて梱包していた作業が、シュリンクにすることで、作業時間がたったの1時間30分で梱包出来た大変喜んでいただきました。更にうれしい事に、以前の梱包形態に比べ、シュリンクすることにより、フィルムが硬くなり強度が増すことで、発泡目地材が、たわんで折れる心配がなくなり、更に作業が簡素化されたことで、作業員を固定しなくても大丈夫になったそうです。まだまだシュリンクフィルムをご存知いただいてない方が多く、非常に面倒な梱包をされて困っている方が多いのではないかと、つくづく感じた事例になります。

夏号のご案内

今回は、川崎にある冷凍・冷蔵庫を所有されている物流会社様でご採用いただきましたシューアイスの6個パックシュリンクをご紹介します。



とある大手パチンコグループ企業様より、今回、店舗販売(交換)商品として、シューアイスを6個化粧箱に入れた商品を販売するにあたり、商品価値の向上・改ざん防止としてシュリンク包装を検討されました。当初、上層部からは、シューアイス(冷凍)を100度以上のシュリンクトンネルで熱をかけてしまえば、シューアイスが溶けてしまうのでは!?とのご意見があり、担当者様に「シュリンクトンネルで熱をかけている時間は、ほんの数秒のため、シューアイスが溶けることはありません!ご安心下さい!!」と説明をしたのですが、なかなか上層部の方々にご納得いただけず、「論より証拠」で実際にシュリンクデモを行いました。

今回、冷凍環境でも耐えうるフィルムグレード『G101-K』を提案致しました。実際シューアイス6個を化粧箱に入れ、シュリンクフィルムを被せ、デモを行い、シュリンク後の商品を開梱し、皆様にシューアイスを触っていただいたところ、皆様溶けてないことに驚かれておりました。試しに同じ製品を5回以上シュリンクトンネルで熱をかけたが、シューアイスが溶けることはありませんでした。シュリンク包装することで見た目も美しく、非常に喜んでいただけました。弊社のシュリンクフィルム『G101-K』は、冷凍のカニをシュリンクするために開発し、その後カニ以外の冷凍製品パックやカニのトゲなどで破けることのないように、突き刺し強度が高い性質を活かし、工業製品のシュリンクにも使用されている製品になります。弊社では、シュリンクフィルムをさまざまな用途でご使用いただけるために、特殊フィルムのご用意もごさいます。「これはシュリンクできないなあ〜」と諦めず、是非弊社に

ご相談いただけましたら幸いです。また、冷凍商品をシュリンクしたいが、設備や環境が整ってなくシュリンク包装を諦めていたお客様も今回ご協力いただきましたお客様でシュリンク包装が可能ですので、是非!ご相談くださいませ。宜しくお願ひ申し上げます。

秋号のご案内

防錆+帯電防止ポリエチレンフィルム『HL-BioCorATPlus』を発売しました。

BioCorATPlus【バイオコアATプラス】とは?

~安全性に配慮した植物由来の防錆フィルム~

BioCor【バイオコア】は防錆効果を発揮する気化性防錆剤になります。ココナッツから抽出した飽和脂肪酸をメインにクランベリーとミルクを組み合わせて製造することにより、環境や人体への影響に配慮した、まったく新しいナチュラル気化性防錆剤になります。AT Plusは、帯電防止(antistatic treatment)プラスの略。この帯電防止剤は、ブリード(溶出)することなく、樹脂表面と内部で長期間(半永久的)帯電荷漏洩作用が持続する新型機構のドナー・アクセプター系帯電防止剤になります。



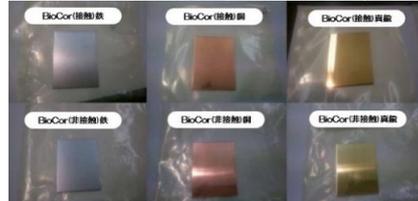
【BioCor】植物由来の気化性防錆剤

防錆効果を発揮する気化性防錆剤であり、ココナッツから抽出した飽和脂肪酸をメインにクランベリーとミルクを組み合わせて製造された原料で、安全性を強く訴求し開発した、アミンとニトライドを含まない世界の先駆けとなる画期的な防錆フィルムです。また、金属、非金属使い分けことなく対応致します。

【AT Plus】+帯電防止の作用機構

分子化合物型帯電防止タイプ

この帯電防止剤は、ブリード(溶出)することなく、樹脂表面と内部で長期間(半永久的)帯電荷漏洩作用が持続する新型機構のドナー・アクセプター系帯電防止剤になります。



HL-BioCorATPlusは、自然由来の気化性防錆剤の為、従の製品のようにグレードを分ける事なく、鉄、非鉄区別無くご使用いただけます。

対応可能な素材: 鉄、ステンレス鋼、亜鉛、アルミニウム、銅、真鍮、鋳鉄、銀、スズ、ニッケル、マグネシウム

冬号のご案内

【新製品情報】

永久帯電防止PEフィルムに新機構タイプの製品を追加新発売致します。

HL-新シリーズは、独特のエネルギーでメチレン鎖に親和する、新しく安全性の高い電荷移動性分子化合物が、ポリエチレン樹脂マトリックスの表面と内部で再現性良く、且つ長期(半永久的)に亘って、帯電荷漏洩作用を持続し続ける特徴と機能を持った、待望の新機構型永久帯電防止ポリエチレンフィルムになります。従来、帯電防止ポリエチレンフィルムに使用されていた帯電防止剤は、界面活性剤の親水基、親油基の相互作用を利用したものや、金属イオン結合樹脂を改良したものが主流でした。今までは、界面活性剤機能タイプは添加量の調整や、べとつき、界面活性剤の移行、持続性等の問題、金属イオン結合樹脂改良型は、帯電防止剤の添加量が多いことによるコストアップの問題がございました。今回採用しました、新機構型の帯電防止剤は、従来の金属イオン結合樹脂改良型と比べ帯電防止剤の添加量が数十分の1と格段に少なく、界面活性剤機能タイプのようなブリードアウトによる弊害、持続性の問題も無く、コストメリットが期待されます。

また、有害な単体金属、ハロゲン化合物及びイオン物質等の夾雑物を一切含有していません。もちろん最新の環境基準(RoHS・REACH等)をクリアしています。最大の特徴は、今までの永久帯電防止ポリエチレンフィルムに比べ、帯電防止剤を数十分の1程度の添加量で、同等の機能、効果が発揮できる為、コスト優位性が大きい製品です。



着色: グリーン・ブルー・ピンク
イエロー・(透明)

規格: 材 質: LLDPE(単層)

表面低効率: 10⁻¹¹乗以下(23℃・50%RH標準/測定値)

製造範囲: 厚み50μ~100μ 幅50mm~700mm

発売予定時期: 平成29年3月以降

編集後記

弊社は3月から第四期のスタートです。
新たな気持ちをもって挑戦していきたいと思ひます。
次回(春号)は5月の予定です。

発行日: 平成29年3月15日
発行: サンプラスチック株式会社
編集: WRCチーム